

平成23年度 大学職員情報化研究講習会（応用コース）
第1分科会 第3グループ

まず、各自が考えてきたニーズカードから目的を発表し、目的のグループ分けを行った。次に、目的達成のための案を出し合い、組織体制、設備など組織的課題からも実現案の検討を行った。また、各目的に対して目標を設定した。

■目的のグループ分け・・・大きく5つの目的に分類

- ①退学率の低下（出席率の管理、履修・成績の管理）
- ②保護者への情報公開（成績・出席状況の web 公開、保護者向けイベントの案内）
- ③学生へのよりよい指導（教職員の教育への参画、情報共有（学生カルテ））
- ④学生の学習意欲・自主性の向上（ポートフォリオの活用）
- ⑤就職率の向上（1～4回生までのキャリア系授業、目標設定とそのフォロー）

■実現案の検討

目的①退学率の低下

- ・出席率の確認、担当教員が一人当たり20人個別に指導 or 事務がまとめて指導、4月時点で出席率30%以下の学生を呼び出し指導（保護者へも通知）→試験前にもう一度呼び出し指導
- ・履修未登録者に連絡（保護者にも連絡）
- ・保護者向けポータルサイト（履修状況、出席状況、成績の公開）

※目標：定期試験欠席率5%以下

※目標：履修未登録者全員へ連絡

目的②保護者への情報公開

- ・保護者向けポータルサイト（履修状況、出席状況、成績、学生基本情報、保護者向けイベントの公開）

※目標：保護者向けポータルサイトの構築

目的③学生へのよりよい指導

- ・学年ごと、授業ごとのポートフォリオ（職員も閲覧可能）
- ・4年間を通した1学生の双方向評価
- ・学生カルテで面談記録を共有（メンタル系の相談は除く、権限制限）
- ・面談内容を記録する

目的④学生の学習意欲・自主性の向上

- ・ポートフォリオ活用・・・成績評価に結び付けるなどして、ポートフォリオ利用の機会を増やす（各学期3回利用を義務化）
- ・目標設定とそのフォロー・・・目標はキャリア、学修、課外活動など何でもよい。目標設定と目標達成手段、その結果を報告させる。またコミュニティを設定し、同一目標をもつ学生同士のつながりを形成。
- ・提出しない学生には指導。教職員が全てにコメントをする。

③④をまとめて、

※目標：授業ごとのポートフォリオ使用率各学部30%以上

※目標：学生指導全般に関する経過報告を各学期3回用意する

※目標：ポートフォリオシステムへ月4回以上ログインさせる

※目標：面談記録記入100%

⑤就職率の向上

- ・1～4年生までのキャリア授業（ポートフォリオで管理（4年間の自分史）、教職員がフィードバック）
- ・4年間を通した1学生の双方向評価

※目標：キャリアポートフォリオ100%使用

■まとめ

「学士力」を学生に身につけさせるためには、「ポートフォリオ」や「学生カルテ」をうまく活用し、教職員が連携して1～4年間を通した学生の指導が必要である。

■第3グループメンバー

- ・東海大学 遠藤実嘉子（学部支援課）
- ・明星大学 岡部勇（教務企画課）
- ・京都産業大学 椿俊紀（教学センター）
- ・神戸学院大学 森元恵未（教務事務グループ）
- ・帝塚山大学 高橋信紀（学生生活課）
- ・広島経済大学 小池剛（学務センター教務課）
- ・崇城大学 大嶋康裕（総合教育助教）